

KABA NET アドレス

<https://www.kabanet.org/>

ID:KABA

PW:2019



くらしの相談検索システム

<https://consultation-of-living.appspot.com/>

どの地域でどのような提案あるのか検索可能です！



豊田市議会議員

中村たかひろ

くらしの相談

担当者レポート No.58

発行日：2025年 10月 31日

発行所：トヨタ自動車労働組合

発行人：飯田 智士

編集者：中村 たかひろ

印刷所：(株)トヨタエンタプライズ

中村 たかひろの主な取組み



*進捗状況（参考）：100%:実現、75%:実現に向け実行中、50%:実現に向け計画中、25%:調査中、0%:動きなし

| 大分類 | 取組みテーマ | 内容 | 進捗状況 |
|---|-----------------------------|------------------------|------|
| 安心に暮らせるまちづくり  | 高齢化社会への諸対策と福祉の充実 | 高齢者に対する移動手段や配食サービスの向上 | 75% |
| | 自然災害対策 交通安全・防犯対策の推進 | 防災情報の伝達機能強化 | 80% |
| 活気あふれるまちづくり  | 家庭・地域・学校が一環した子供の育成 | コミュニティ・スクールの推進 | 80% |
| | 健全な心と健康な体づくりの為に文化・スポーツ活動の推進 | 地域部活動の充実 | 85% |
| | 健康維持・福祉・医療の充実 | 地域医療センターによる訪問看護の充実 | 85% |
| 環境にやさしいまちづくり  | 資源の循環・地域環境の保全 | カーボンニュートラルに対する取組及び意識啓発 | 75% |
| | 交通環境整備と緑化活動の調和 | 豊田・細川線自転車・歩道整備 | 75% |
| 魅力あるまちづくり  | ふれあいを大切にした地域活動の推進 | 多世代に向けた居場所づくりの取組 | 65% |
| | 子育て支援の充実 | 記念病院内に事業所内保育拡大 | 30% |



9月議会は、産業建設委員会分科会（予算・決算質疑）に注力。今回のレポートは、令和6年度決算等くらしの相談取組み事例の主なものについて報告させていただきます。（次頁参照）



令和 6 年度主な決算報告

① 安全・安心な地域部活動の環境整備

【決算】 学校教育総務費 部活動の地域移行事業費
7,543 万円余

人材バンク運用により、現時点で 1,100 人を超える登録者を確保。部活動の完全移行に向けて最大の課題と捉えている指導者確保の観点で、順調な成果。



② 安心して子育てできる環境づくりの推進

【決算】 幼稚園費 施設整備費

26,399 万円余

保育所への移行は、令和 8 年度から高橋こども園は 16 人、野見こども園は 32 人の合計 48 人の乳児受け入れ枠が増加。



【中村たかひろ活動内容】

【組合活動】

堤工場期初研修に参加



擁立頂いているトヨタ労組の堤工場の職場委員の期初研修に参加し、挨拶と報告をさせて頂きました。

三五労組ソフトバレー大会に参加



阿部県議のお誘いにより、国会議員の日野さりあ衆議院議員と各市町の市議会議員と三五労組のソフトバレー大会に参加し、日頃のストレス発散と議員同士の親睦や組合員の皆さんとの意見交換を行いました。

【地域活動】

自治区の夏祭りに参加



今年も推薦を頂いている各自治区の夏祭りに阿部県議と一緒に参加させて頂き、親睦を図りました。

自治区の敬老会に参加



地元推薦頂いている下野見自治区の敬老会に阿部県議と一緒に参加させて頂き、皆さんに挨拶と日頃の活動報告を行いました。また、余興と一緒に歌ったり、意見交換を行いました。

中村たかひろは皆様の身近な存在で、どんな小さなご意見にも耳を傾けます。

主な公約と取り組みの振り返りと今後の進め方

豊田市議会議員

中村たかひろ

| 今期のテーマに対する取り組み内容の振り返り | (継続 or 新規内容) テーマに対する取り組み内容 | 進捗状況 |
|---|----------------------------|------------|
| 高齢者の移動手段については、コミュニティーカー・シェアリングなど進んで来たが、 <u>配食サービスの拡大が課題であり、民間活用を積極的に進める。</u> | 継続 | 75% |
| 熊本県や岐阜県など他県でも異常な豪雨に襲われ川の氾濫などによる災害が多く発生している。その中で防災情報の伝達は大事であるが、中々スピーディに伝達出来ていない為、 <u>引き続きの強化が必要。</u> | 継続 | 80% |
| 豊田市内全中学校区 28ヶ所にコミュニティー・スクールが設置されたが、学校規模や学校のニーズによって様々である。また、各小学校の地域学校共働本部と連携を図り進める事が重要である。 | 継続 | 80% |
| 学校の部活動が基本的に令和 8 年度から全部地域に移行される為、 <u>今年度立ち上げた本市独自の指導者の人材バンクを上手く活用する事が重要</u> である。 | 継続 | 85% |
| 本市でも自宅療養者や在宅看護を望む人も増えている為、 <u>地域医療センターによる訪問看護の更なる充実</u> を図るべきである。 | 継続 | 85% |
| 国は「2050 年までに、カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言しました。本市として様々な課題を踏まえ、カーボンニュートラルに対する取組や周知を <u>更に</u> 図る必要がある。 | 継続 | 75% |
| 豊田・安城自転車道は完了したが、昔からの課題である <u>県道豊田・細川線の用地買収始め自転車歩道整備</u> を県と連携しながら継続的に進める。 | 継続 | 75% |
| 地域や学校行事などが中止を余儀なくされ地域のコミュニティが薄れつつある為、交流館などを活用した多世代に向けた居場所づくり等が <u>引き続き必要</u> である。 | 継続 | 65% |
| 藤敷子ども園の 0～3 歳児の続き、新たに平山子ども園でも受入を実施。 | 今年度から実施の為終了 | |
| 保育士不足などにより地域枠の受け入れまでになっていない。引き続き注視していく。 | 継続 | <u>30%</u> |